

シグマ研究委員会幹事会メモ

日 時 昭和44年8月28日, 13時30分~17時30分

場 所 原研東海 V. d. G. 29号室

出席者 百田, 飯島, 桂木, 森田, 西村,

議 題 第3回シグマ研究委員会の議案の準備

1. YIFTAH氏(イスラエル)の来日にもなう東海研での講演, 討論について, 桂木委員から話しがあり, 委員会としても会内に情報を流すことになった。

2. NIST-国内の全国的情報流通システムについて長山委員が紹介する。

3. SCISRS-IIについて更田委員が解説する。

4. データシートによる文献収集について。

坂本, 中島両委員からその後の経過について説明がある。

5. 今年度の研究会について。

炉定数関係で考慮していた研究会は, 検討の結果今年度は無理で来年8月に行いたいという意図が表明された。内容は高速炉用炉定数に関するもので, 核データの情報, 評価部門にも関連し, 炉定数の評価も含まれる。国内の中性子実験関係の人々にも呼びかける。研究会のアナウスのなるべく早く行なう。

6. 保留金。SCISRSから入手したデータのプロット用テープの作成に100万円, 運営費の追加分として20万円の申出があった。残額として30万円あるが, これは保留しておくという提案がなされた。

7. 炉定数の評価について。この討論を委員会で行う。

8. 核データセンタとシグマ委員会の関係, 基本方針などの討論を委員会でを行う。

9. 高速炉炉定数セットの報告書をPNCに提出するが、その際シグマ研究委員会の名で報告書を作成することを、委員会です承してもらおう。
10. 菊池(康)委員の外国留学に関する件。

以 上